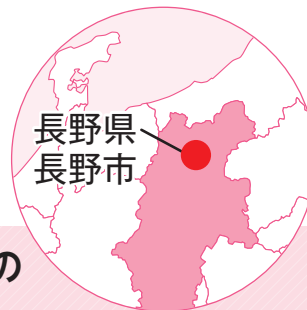


長野医療生活協同組合 長野中央病院



贈呈
理由

ガス焚吸収式冷温水機から高効率ヒートポンプシステムへの
リプレイスにより、大幅な省エネルギーを実現



長野医療生活協同組合 長野中央病院

地域の健康づくりを応援し、 住みよいまちづくりに貢献する

長野中央病院は、長野市街地の中心に位置し、「住みなれた地域に頼れる医療機関を」と願った地域の人々の熱意により、1961年に開設された長野民主診療所が原点となっている。救急医療や急性期医療の他、回復期リハビリ病床や緩和ケア病床などを備えた「地域の身近にある総合力のある病院」として発展してきた。

「人が人として尊重される医療活動を通して、地域の皆さまの健康づくりを応援し、住みよいまちづくりに貢献する」ことを基本理念に掲げ、住民や患者さまのみならず地域の医療機関からも信頼される病院として、質・量ともに前進すべく努力を続け、広く社会の医療福祉に貢献できる新しい人材の育成・輩出にも力を入れている。

高効率の電化機器を導入し、 省エネルギー、省CO₂を実現

病院施設設備においては、環境への配慮や設備の高効率化に積極的に取り

組んでおり、これまでに厨房設備においてエネルギー効率が高い電化機器を導入している。老朽化したガス焚吸収式冷温水機の更新にあたり、ランニングコストの低減はもとより環境性に配慮するため、省エネルギー・省CO₂に優れた機器を導入することとした。

従来、空冷ヒートポンプチャラーは寒冷地における性能に懸念があった。しかし、近年はメーカーの技術開発により暖房性能もアップし、寒冷地でも導入が進んでいることから、当地域においても採用が可能と判断した。メンテナンスが容易となるほか、採用したモジュールユニット連結方式は、ユニット故障時における施設運営への影響を最小限に抑えることができ、病院として安全性の向上が図れることも大きな利点となっている。

高効率ヒートポンプチャラーを導入し



空冷ヒートポンプチャラー

た結果、一次エネルギー換算消費量が年間39%削減となり、大幅な省エネルギーを実現した。設備更新から約2年経過となるが、冬期暖房においても問題なく運用している。今後も省エネルギー性に優れた高効率設備を積極的に導入し、地球環境に配慮した社会の実現に貢献していく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガス焚吸収式冷温水機 一次エネルギー消費量: 11,941.31GJ
採用システム	空冷ヒートポンプチャラー 一次エネルギー消費量: 7,268.79GJ



(諸元) 実測結果に基づく年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日) 9.76MJ/kWh ※都市ガス 45MJ/Nm³
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施工規則」

長野中央病院

所在地: 長野県長野市大字鶴賀1570
設備設計: (株)環境デザイン・エイアンドエス
設備施工: 金澤工業(株)
延床面積: 19,042.06m²
竣工: 2019年更新
URL: <https://www.nagano-chuo-hospital.jp/>

■ 設備概要

空冷ヒートポンプチャラー
180kW×9台【東芝キャリア】

